

第3学年英語科学習指導案

日 時 平成24年11月8日(木) 5校時

学 級 3年2組(男子20名 女子14名 計34名)

授業者 教諭 吉田 幸恵 ALT ウィンフレッド・クァーシー

1 単元名 Sunshine English Course 3 PROGRAM 7 What Is the Most Important Thing to You?

2 単元について

(1) 教材について

本単元では、本当に意味のある国際協力をめざして世界中でボランティア活動を行っている医師であり、写真家でもある山本敏晴さんが取り上げられている。東北出身であり世界で活躍する山本さんの姿は、将来の進路について考え始めている生徒にとって興味深い存在であると思われる。「お絵かきプロジェクト」は特に山本さんが取り組んでいる活動である。これを通して途上国の現実を見ると同時に、自分の国に夢や希望を持って生きる子供たちのメッセージから、本当の国際協力とは何か、自分たちにできることは何か考えさせることができる。学習指導要領では3(2)ウの「国際協調の精神を養う」にあたる。

本単元の文法項目では、関係代名詞 who, which, that の主格を扱っている。生徒にとってはなじみにくい文法の一つであるが、1文で人や物について詳しく説明する表現の幅を広げることができる。疑問詞と前単元の後置修飾などと比較させながら、関係代名詞の文の構成と運用を理解させ、4領域をバランスよく指導しながら定着を図りたい。

(2) 生徒について

全体的に真面目で、与えられた課題や作業に真剣に取り組むことができる生徒が多いが、教師の問いかけに対する反応は少ないことがある。そのため、ペア活動で話し合う時間を与えるなど、発言しやすい環境作りをしている。諸調査の結果では、「表現の能力」が向上してきているものの、全国、県平均より低くなっている。特に「書くこと」が他の領域よりも著しく定着が低い。

また、生徒の意識調査では次のような結果になっている。(単位%)

	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
わかる・できると感じる	26.5	8.8	38.2	26.5
難しいと感じる	26.5	35.3	0.0	38.2
集中して取り組んでいる	38.2	11.8	29.4	20.6

「読むこと」が「わかる・できる」と感じているのは、2年と半年間の積み重ねがもたらしている結果と思われる。「難しい」と感じている生徒の割合が0となっているのは「読むこと」を音読のみと捉えている生徒が多いからと考えられる。一方で「話すこと」、特に「書くこと」に苦手意識を持っている生徒が多い。これらの結果から、日常の授業でQ&Aを行い、教科書の writing を利用して表現力を育てる指導をしている。

(3) 指導について

本時は、Basic Dialog の場面と内容を理解させた上で、関係代名詞 who の文法説明をシンプルに行い、関係代名詞の用法を理解させる。本時のねらいに迫るために、職業のイラストとその説明文を、関係代名詞を用いて作成し、文の構成の理解を図る。さらにその中から職業を選び、グループで説明する文を考えさせたあと自己表現活動を行う。これらの段階を経て将来自分がなりたい職業についてくわしく説明することができるようにさせたい。また関係代名詞 who は My Project9「自己PRしよう」に関連するものとして扱われており、正確に書く活動へとつなげたい。

生徒の課題解決のためにペア活動、小グループ活動を意図的・効果的に取り入れ、かかわり合いを大切にさせながら、一人ひとりの生徒が授業に参加して「できた」という実感を持つことができるように指導していきたい。

3 単元の指導・評価計画（7時間）

(1) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 言語活動に積極的に取り組んでいる。 様々な工夫をして、書き続けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞を使って話したり、書いたりして運用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大切な部分を聞き取ったり、読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞の使い方を理解し、正しく使うことができる。 発展途上国の文化的背景について理解している。

(2) 時間ごとの指導・評価計画

時	学習内容	学習目標	評価規準	評価方法
1 本時	セクション1 関係代名詞who (主格)	自分になりたい職業についてくわしく説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動に積極的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) 関係代名詞を使って話したり正しく書いたりすることができる。(表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 観察 ワークシート
2	セクション1 読み取り	本文を読み、内容を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を日本語で説明できる(理解) Q&Aに英語で答えられる。(理解) 文のつながり、区切りに気をつけて読むことができる。(表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 発表 音読 ワークシート
3	セクション2 関係代名詞 which (主格)	(自分が持っている)ものについてくわしく説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動に積極的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) 関係代名詞を使って話したり正しく書いたりすることができる。(表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 観察
4	セクション2 読み取り	本文を読み、内容を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を日本語で説明できる(理解) Q&Aに英語で答えられる。(理解) 文のつながり、区切りに気をつけて読むことができる。(表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 発表 音読 ワークシート
5	セクション3 関係代名詞 that(主格)	(自分が知っている)人やものについてくわしく説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動に積極的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) 関係代名詞を使って話したり正しく書いたりすることができる。(表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 観察
6	セクション3 読み取り	本文を読み、内容を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を日本語で説明できる(理解) Q&Aに英語で答えられる。(理解) 本当の国際協力とは何か。自分たちにできることは何か考えることができる。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 ワークシート
7	まとめ	関係代名詞の使い方を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> who, which, thatを正しく使い、人や物を説明することができる。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> 後日期末テスト

4 本時の指導

(1) 目標

- ① ペア、グループ活動を通して英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。
- ② 関係代名詞を使って、人や職業について英語で説明することができる。

(2) 評価規準

- ① ペア、グループ活動などを通して英語によるコミュニケーション活動に積極的に取り組んでいる。
 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ② 関係代名詞 who を使って、自分がなりたい職業について英語で表現することができる。
 (表現の能力)

(3) 本時の展開 (評価の○は本時の目標にかかわる評価、●はその他の評価)

段階	学習内容	形態	指導上の工夫及び留意点	評価 (観点、方法等)	資料
導入 10分	1 Greeting 2 Basic Dialogの内容理解 場面と仕組みを理解する。 4 課題の設定	一斉	・場面を生徒とのインタラクショ ンで確認する。(ALT) ・仕組みについて説明を加える。 (JTE) ・本時の課題を確認する。		PC 紙 板 書
展 開	自分がなりたい職業について、関係代名詞を使って説明しよう。				紙 板 書
	5 新出文法の説明 6 Pattern Practice	一斉	・関係代名詞whoの使い方について 簡単に説明する。(JTE) ・教科書の“Speaking”を使い、 本時の表現に慣れさせる。 (JTE/ALT)		イ ラ ス ト
35分	7 Activity ①関係代名詞を使 って文を作る。 ②グループで全体 に発表する。 8 Writing 自分がなりたい職 業を、whoを使って 書く。	個人 グル ープ 個人	・職業イラストと説明文を組み合 わせる。個人→グループ ・職業を選び、オリジナル文をグ ループで考えさせる。 (例) I want to be a doctor who can take care of sick people in a hospital. (JTE/ALT) ・発表のマナーを確認する。 ・発表文の数を示す。 ・語数の目安を示す。 ・なりたい職業を発表しあう。 ・いくつか全体に紹介する。	○評価規準① 自分の考えをもっ て英文作成に積的 に参加している。 (観察 ワークシ ート) ●評価規準② 英語で発表できる。 (発表) ○評価規準② 関係代名詞を用い て英語を書く。 (ワークシート)	文 の セ ッ ト WS
終 結	言語活動：関係代名詞の英文を作り話したり書いたりする。活動②				
5分	9 自己評価 10 次時の予告と課 題	個人	・本時のふり返りをさせる。 ・課題を配布し本時の復習をさせ る。		課 題